

平成25年行政事業レビューシート

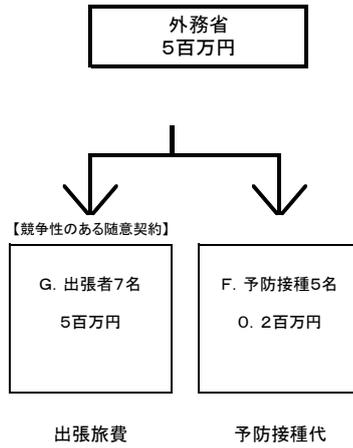
(外務省)

事業名	国際緊急援助事務費		担当部局庁	国際協力局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和62年度開始		担当課室	緊急・人道支援課		課長 伊藤 毅	
会計区分	一般会計		政策・施策名	基本目標Ⅳ:経済協力 施策Ⅵ-1:経済協力			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	外務省設置法第四条第一項ハ 国際緊急援助隊の派遣に関する法律		関係する計画、 通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	国際緊急援助のより迅速かつ効果的・効率的な実施に向け関連する情報収集や調査の平時からの訓練体制強化等を行うこと。						
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	国際緊急援助に関する情報収集や調査、平時からの訓練等及び国際緊急援助隊の実派遣時における結団、解団式への出席経費。また大規模災害発生の際、緊急援助の実施を一層迅速化をさせるため発災初期段階の情報収集と被災国政府との調整及び被災国の我が国在外公館の支援を主目的とする「外務省・国際緊急援助調査チーム」を派遣するための事務費及び国際緊急援助体制の強化にかかる関連経費。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	15	7	7	7	7
	執行額	9	4	5	-	-	
	執行率(%)	60.3	49.3	75.6	-	-	
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	災害救援を通じた人道支援の実施 ①国際緊急援助隊の派遣回数 ②物資供与の回数		成果実績 ①回数 ②回数	① 3 ② 15	① 2 ② 19	① 0 ② 17	-
	達成度		%	100%	100%	100%	-
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	① 調査チーム派遣回数 ② 予防接種人数		活動実績 (当初見込み) ①回数 ②人数	① 2 ② 6 -	① 0 ② 6 -	① 0 ② 5 -	② 6(見込み) ()
単位当たり コスト	5,525円/1回		算出根拠	H24 予防接種合計額(22,100円)÷予防接種数(4回)			
平成 25 ・ 26 年度 予算 内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	謝金	0.1	0.1				
	職員旅費(内国)	0.1	0.3				
	職員旅費(外国)	6	4				
	消耗品費	0.3	0.8				
	自動車等借料	0.2	0.1				
	会議費	-	2				
	計	7	7				

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国際緊急援助隊派遣業務は、国民やマスコミの関心・注目度が極めて高く、国際協力の中で重要な事業。また、外交的な観点も十分踏まえる必要があり、地方自治体や民間等に本業務を委ねることは適当ではない。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	国際緊急援助隊の派遣に際しては、被災国からの要請内容に即して、被災者の迅速な救援を最優先に、迅速かつ効果的、効率的な人道支援の実現に努めている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	国際緊急援助隊は被災国からの支援要請を基に派遣され、被災者の迅速な救援を最優先している。その活動は被災国より高い評価を受けており、その有効性は高い。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	重複する事業はない。		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	引き続き効率的、効果的な事業の実施に努めていく。					
外部有識者の所見						
—						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	引き続き、適切且つ効率的な事業実施に努める。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	—					
備考						
—						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	587	平成23年	561	平成24年	284

個別事業名:

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

個別事業名:

A.			E.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
旅費	出張者A	2			
計		2	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

個別事業名:

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	業務出張	2		
2	出張者B	業務出張	0.9		
3	出張者C	業務出張	0.8		
4	出張者D	業務出張	0.7		
5	出張者E	業務出張	0.6		
6	出張者F	業務出張	0.2		
7	出張者G	業務出張	0.1		
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	対象者A	汚染地域への出張に備えた予防接種	0.1		
2	対象者B	汚染地域への出張に備えた予防接種	0.1		
3	対象者C	汚染地域への出張に備えた予防接種	0.1		
4	対象者D	汚染地域への出張に備えた予防接種	0.04		
5	対象者E	汚染地域への出張に備えた予防接種	0.03		
6					
7					
8					
9					
10					